

## 平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年11月5日

上場会社名 株式会社 クレディセゾン

上場取引所 東

コード番号 8253 URL <http://www.saisoncard.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 林野 宏

問合せ先責任者 (役職名) 広報室長

(氏名) 大阿久 学

TEL 03-3982-0700

四半期報告書提出予定日 平成22年11月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成23年3月期第2四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	145,266	△7.3	13,684	△23.9	17,626	△8.0	9,966	15.1
22年3月期第2四半期	156,706	△8.5	17,979	△40.9	19,149	△33.3	8,657	△44.6

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	54.27	53.93
22年3月期第2四半期	47.80	47.57

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第2四半期	2,321,988	342,365	14.6	1,850.00
22年3月期	2,374,129	341,405	14.3	1,845.82

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 339,725百万円 22年3月期 338,970百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	0.00	—	30.00	30.00
23年3月期	—	0.00	—	—	—
23年3月期 (予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

### 3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	285,000	△7.1	20,500	△43.3	24,500	△37.4	12,000	△35.8	65.35

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 有

連結業績予想の修正については、本日(平成22年11月5日)公表の「平成23年3月期第2四半期累計期間(連結・個別)業績予想と実績との差異及び通期(連結・個別)業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

4. その他（詳細は、【添付資料】P.4「2.その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社（社名 ）、除外 一社（社名 ）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 無

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 有

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む） 23年3月期2Q 185,444,772株 22年3月期 185,444,772株

② 期末自己株式数 23年3月期2Q 1,809,156株 22年3月期 1,802,090株

③ 期中平均株式数（四半期累計） 23年3月期2Q 183,637,654株 22年3月期2Q 181,109,378株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・上記に記載した予想数値は、本資料の発表日現在における将来の見通し、計画のもととなる前提、予測を含んで記載しております。実際の業績は、様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。なお、業績予想に関する事項につきましては、四半期決算短信（添付資料）3ページ「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	10
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

※ 当社では、ホームページにて、事業・業績に関する補足説明資料及び四半期決算短信の英訳（要約版）を提供しております。

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益の改善や個人消費が政府の経済対策により持ち直し基調を続けるなど緩やかに回復しつつあるものの、急速な円高や株価低迷により改善の動きが一時的に弱まるなど厳しい環境下で推移いたしました。

また、当社が属するノンバンク業界においては、貸金業法の完全施行や割賦販売法の改定、利息返還請求の影響など、依然として厳しい経営環境が続きました。

このような状況において、当第2四半期連結累計期間の業績は次のとおりです。なお、営業収益の内訳科目について、従来の収益区分の見直しを行いました。また、以下の記述については、変更後の収益区分に基づいております。

**営業収益**は1,452億66百万円(前年同期比7.3%減)となりました。

主力の「クレジットサービス事業」では、高稼働、高単価の見込まれるプレミアムカードの拡充によるショッピング取扱高の増加や、オンラインショッピングモールを16歳以上のすべての方(セゾン・UCカードをお持ちでない方を含む)に開放し成果報酬の拡大を図るなど、収益構造の向上に注力いたしました。しかしながら、貸金業法の完全施行によるキャッシング市場規模縮小の影響等によってキャッシング収益が減少し、同事業全体では減収となりました。

当第2四半期連結累計期間の新規カード会員数は111万人、当第2四半期連結会計期間末のカード会員数は2,838万人(前期末比0.3%増)、カードの年間稼働会員数は1,455万人(前期末比1.6%増)となりました。

また、当第2四半期連結累計期間のショッピング取扱高は1兆9,497億円(前年同期比3.7%増)、ショッピングのリボルビング残高は2,984億円(前期末比0.1%増)、カードキャッシング残高は5,292億円(前期末比11.3%減)、メンバーズローン等の無担保ローン残高は284億円(前期末比12.6%増)となりました。

「ファイナンス事業」では不動産融資の収益が減少したものの、リース事業及びフラット35等の収益が増加したことにより増収となりました。

「不動産関連事業」では売上高が減少したことにより減収となりました。

**営業利益**は136億84百万円(前年同期比23.9%減)、**経常利益**は176億26百万円(前年同期比8.0%減)となりました。弁護士・認定司法書士等による第三者介入債権が、以前の増加傾向に比べ沈静化しつつあることにより貸倒コストが減少いたしました。加えて、効率化を優先したコスト削減施策として、ご利用明細書のネット化、タブレットPCを活用したカード申し込みの推進及び広告宣伝費や人件費等の抑制に努め、販売費及び一般管理費は1,201億30百万円(前年同期比5.1%減)となりました。

以上の結果、**四半期純利益**は99億66百万円(前年同期比15.1%増)、**1株当たり四半期純利益**は54円27銭となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して521億41百万円減少し、2兆3,219億88百万円となりました。主な減少要因としては、キャッシング取扱高の減少等により、割賦売掛金が888億9百万円減少したことによるものです。

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末と比較して531億1百万円減少し、1兆9,796億22百万円となりました。主な減少要因としては、第2回ショッピング・リボルビング債権流動化400億円を早期償還したこと等により、債権流動化借入金が475億84百万円減少しております。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末と比較して9億60百万円増加し、3,423億65百万円となりました。利益剰余金が43億2百万円増加した一方、その他有価証券評価差額金が30億5百万円減少しております。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間までの当社グループの業績や経営環境を踏まえ、平成22年5月14日に公表いたしました通期の業績予想を以下のとおり変更いたしました。

なお、詳細につきましては、本日（平成22年11月5日）公表の「平成23年3月期第2四半期累計期間（連結・個別）業績予想と実績との差異及び通期（連結・個別）業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

<平成23年3月期 連結業績予想>

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A） （平成22年5月14日公表）	288,000	17,500	21,000	9,000	49.01
今回修正予想（B）	285,000	20,500	24,500	12,000	65.35
増減額（B－A）	△3,000	3,000	3,500	3,000	—
増減率（%）	△1.0	17.1	16.7	33.3	—
（参考）前期実績 （平成22年3月期）	306,855	36,173	39,106	18,680	102.48

(参考)

<平成23年3月期 個別業績予想>

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A） （平成22年5月14日公表）	244,000	15,500	18,000	6,500	35.34
今回修正予想（B）	241,000	18,000	21,000	8,500	46.27
増減額（B－A）	△3,000	2,500	3,000	2,000	—
増減率（%）	△1.2	16.1	16.7	30.8	—
（参考）前期実績 （平成22年3月期）	257,924	30,661	33,787	16,137	88.40

上記に記載した予想数値は、本資料の発表日現在における将来の見通し、計画のもととなる前提、予測を含んで記載しております。実際の業績は、様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

## 2. その他の情報

### (1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

### (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

#### ・会計処理基準に関する事項の変更

#### ① 「持分法に関する会計基準」及び「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用

第1四半期連結会計期間より、「持分法に関する会計基準」（企業会計基準第16号 平成20年3月10日公表分）及び「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告第24号 平成20年3月10日）を適用し、連結決算上必要な修正を行っております。

この変更により、期首の利益剰余金が152百万円減少しております。また、この変更による損益に与える影響は軽微であります。

#### ② 資産除去債務に関する会計基準の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

この変更により、営業利益及び経常利益は50百万円、税金等調整前四半期純利益は1,275百万円それぞれ減少しております。

・表示方法の変更

(四半期連結損益計算書関係)

従来、営業収益の内訳科目は「クレジットサービス事業収益」、「ファイナンス事業収益」、「不動産関連事業利益」、「エンタテインメント事業利益」、「その他の事業利益」及び「金融収益」により区分表示しておりましたが、第2四半期連結累計期間より「クレジットサービス事業収益」、「ファイナンス事業収益」、「不動産関連事業利益」、「エンタテインメント事業利益」及び「金融収益」として区分表示することに変更いたしました。

この変更は、第2四半期連結累計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用したことを契機に、マネジメントアプローチによるセグメント事業区分の見直しを実施し、当社グループの経営実態をより適切に反映するため、従来の収益区分の見直しを行ったことによるものです。この見直しに伴い、従来、「ファイナンス事業収益」に含めておりました無担保証券ローン収益、また、「その他の事業利益」に含めておりました保険代理店収益については、クレジットサービス事業に関連していることから、第2四半期連結累計期間より、「クレジットサービス事業収益」にそれぞれ含めて表示しております。

なお、変更後の事業区分に基づいた前第2四半期連結累計期間の営業収益の内訳は次のとおりであります。

区分	金額(百万円)
クレジットサービス事業収益	125,613
ファイナンス事業収益	14,421
不動産関連事業利益	
不動産関連事業収益	39,198
不動産関連事業原価	31,043
不動産関連事業利益	8,154
エンタテインメント事業利益	
エンタテインメント事業収益	43,989
エンタテインメント事業原価	36,465
エンタテインメント事業利益	7,523
金融収益	992
営業収益合計	156,706

### 3. 四半期連結財務諸表

#### (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	59,434	64,232
割賦売掛金	1,599,366	1,688,176
リース投資資産	219,216	214,232
営業投資有価証券	2,406	227
有価証券	5,000	297
販売用不動産	226,859	204,799
買取債権	13,423	15,409
その他のたな卸資産	1,257	1,397
その他	63,049	64,927
貸倒引当金	△115,142	△121,458
流動資産合計	2,074,870	2,132,241
固定資産		
有形固定資産	61,247	60,597
無形固定資産	67,524	57,694
投資その他の資産		
投資その他の資産	123,092	128,306
貸倒引当金	△5,115	△5,038
投資その他の資産合計	117,977	123,268
固定資産合計	246,748	241,560
繰延資産	369	328
資産合計	2,321,988	2,374,129
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	183,104	206,655
短期借入金	295,123	296,923
1年内返済予定の長期借入金	128,168	96,195
1年内償還予定の社債	45,225	25,225
コマーシャル・ペーパー	170,000	133,000
1年内返済予定の債権流動化借入金	12,136	13,220
リース債務	1,251	915
未払法人税等	4,059	10,974
賞与引当金	2,018	2,234
役員賞与引当金	35	92
利息返還損失引当金	19,645	16,317
商品券回収損失引当金	179	186
割賦利益繰延	6,160	6,253
その他	39,075	38,382
流動負債合計	906,182	846,577

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>固定負債</b>		
社債	200,900	211,112
長期借入金	679,946	737,436
債権流動化借入金	89,410	135,910
リース債務	3,818	2,889
退職給付引当金	2,299	3,252
役員退職慰労引当金	59	108
債務保証損失引当金	4,354	4,486
瑕疵保証引当金	18	59
ポイント引当金	64,418	61,238
利息返還損失引当金	16,548	19,278
資産除去債務	848	—
負ののれん	902	1,048
その他	9,916	9,327
<b>固定負債合計</b>	<b>1,073,440</b>	<b>1,186,147</b>
<b>負債合計</b>	<b>1,979,622</b>	<b>2,032,724</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	75,929	75,929
資本剰余金	84,838	84,860
利益剰余金	183,539	179,237
自己株式	△6,113	△6,105
<b>株主資本合計</b>	<b>338,194</b>	<b>333,921</b>
<b>評価・換算差額等</b>		
その他有価証券評価差額金	3,806	6,812
繰延ヘッジ損益	△2,274	△1,762
<b>評価・換算差額等合計</b>	<b>1,531</b>	<b>5,049</b>
新株予約権	0	0
少数株主持分	2,640	2,434
<b>純資産合計</b>	<b>342,365</b>	<b>341,405</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>2,321,988</b>	<b>2,374,129</b>

(2) 四半期連結損益計算書

【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
<b>営業収益</b>		
クレジットサービス事業収益	122,978	117,371
ファイナンス事業収益	16,049	14,859
不動産関連事業利益		
不動産関連事業収益	39,198	17,870
不動産関連事業原価	31,043	12,197
不動産関連事業利益	8,154	5,672
エンタテインメント事業利益		
エンタテインメント事業収益	43,989	40,661
エンタテインメント事業原価	36,465	33,558
エンタテインメント事業利益	7,523	7,103
その他の事業利益		
その他の事業収益	1,007	—
その他の事業原価	—	—
その他の事業利益	1,007	—
金融収益	992	260
<b>営業収益合計</b>	<b>156,706</b>	<b>145,266</b>
<b>営業費用</b>		
販売費及び一般管理費		
ポイント引当金繰入額	7,193	7,262
貸倒引当金繰入額	28,711	22,812
利息返還損失引当金繰入額	4,217	10,111
債務保証損失引当金繰入額	2,509	2,092
支払手数料	25,118	23,542
その他	58,890	54,309
販売費及び一般管理費合計	126,640	120,130
金融費用	12,085	11,451
<b>営業費用合計</b>	<b>138,726</b>	<b>131,582</b>
<b>営業利益</b>	<b>17,979</b>	<b>13,684</b>
<b>営業外収益</b>		
受取利息	71	25
受取配当金	596	1,798
負ののれん償却額	223	188
持分法による投資利益	208	1,011
償却債権取立益	327	893
その他	647	329
<b>営業外収益合計</b>	<b>2,074</b>	<b>4,246</b>

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
営業外費用		
支払利息	617	33
貸倒引当金繰入額	—	131
その他	287	139
営業外費用合計	904	303
経常利益	19,149	17,626
特別利益		
投資有価証券売却益	58	—
持分変動利益	297	—
その他	6	—
特別利益合計	362	—
特別損失		
投資有価証券評価損	866	453
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	1,224
その他	443	214
特別損失合計	1,310	1,892
税金等調整前四半期純利益	18,201	15,734
法人税、住民税及び事業税	5,479	3,835
法人税等調整額	3,858	1,702
法人税等合計	9,337	5,538
少数株主損益調整前四半期純利益	—	10,195
少数株主利益	206	229
四半期純利益	8,657	9,966

**(3) 継続企業の前提に関する注記**

該当事項はありません。

**(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記**

該当事項はありません。